

auが史上初の9連覇 「BRAND OF THE YEAR 2023」を発表

CM総合研究所(東京都千代田区 代表・関根心太郎)は、2023年度(2022年11月度～2023年10月度)のCM好感度ナンバーワンブランド「BRAND OF THE YEAR 2023」を発表するとともに、CM好感度ランキング上位の顔ぶれとCM展開についてレポートいたします。

2023年度 銘柄別CM好感度トップ10(全6498銘柄)

順位	企業名/銘柄名	代表作品名(主な出演者)
1	KDDI / au	「三太郎シリーズ: ココロ、オドルほうで。」篇(松田翔太/桐谷健太/濱田岳ほか)
2	ユニクロ / UNIQLO	「感動パンツでフットサル」篇(綾瀬はるか/内田篤人/金子隼也)
3	ソフトバンク / ワイモバイル	「送りバント」篇(芦田愛菜/出川哲朗/小池栄子)
4	ソフトバンク / SoftBank	「ペイトク 登場」篇(中居正広/広瀬すず/杉咲花)
5	アサヒビール / スーパードライ	「最高の渇きに。五十嵐カノア」篇(五十嵐カノア)
6	花王 / アタックZERO	「#洗濯愛してる会 前洗いなし」篇(松坂桃李/菅田将暉/賀来賢人ほか)
7	アサヒビール / アサヒ生ビール	「はじめてのおつかれ生です」篇(芳根京子)
8	Uber Eats Japan / Uber Eats	「Uber Eatsで、いーんじゃない? リモートワーク」篇(夏木マリ)
9	ユー・エス・ジェイ / ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	超元気特区 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン NO LIMIT! サマー「やらかしちゃう?」篇(菅田将暉)
10	トリドールホールディングス / 丸亀製麺	「真夏の体験! サマーシェイクうどん、誕生」篇(原菜乃華/石井竜也ほか)



KDDI / au



ユニクロ / UNIQLO



ソフトバンク / ワイモバイル

【auが史上初の9連覇を達成 多彩なキャストが登場する「三太郎」シリーズが好調】

KDDI「au」が史上初の9年連続CM好感度総合1位に輝いた。松田翔太、桐谷健太、濱田岳らが出演する「三太郎」シリーズは毎年恒例の正月CMがヒット。meiyoの歌うCMオリジナル楽曲『ココロ、オドルほうで。』に合わせて、さまざまな選択に迷う三太郎たちが桜の舞い散る庭で楽しげにダンスをする様子を映した。“あの”演じる“あまのじゃ子”、田中みな実が好演した“鬼嫁”などの新キャストを交えたコミカルなCMも好評価を獲得。このほか神木隆之介出演の「意識高すぎ! 高杉くん」シリーズも多く支持された。

『UNIQLO』は自己最高位の総合2位につけた。「LifeとWear」をコピーに、桑田佳祐、サザンオールスターズの楽曲と綾瀬はるか出演で展開するシリーズが引き続き好調。綾瀬が内田篤人、斎藤佑樹、松下洸平といった多彩なキャストと共演するCMを次々に放送し、成人層を中心にポイントを伸ばした。

ソフトバンク「ワイモバイル」は芦田愛菜、出川哲朗、小池栄子が“バカボン”一家を演じるシリーズがヒット。ヒロシ、デヴィ夫人、ダイアンの津田篤宏といったゲストが登場するCMなども展開し、初のトップ3入りを果たした。同社「SoftBank」は中居正広が“ペイトク”を演じるCMが話題を集め、4位に続いた。

【ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、丸亀製麺が初のトップ10入り】

アサヒビール「スーパードライ」が自己最高のCM好感度を更新し、初のトップ5入りとなった。「最高の渇きに。DRY。」というメッセージのもと、イチロー、プロサーファーの五十嵐カノアが出演するCMが快走。「SUPER TRY」をコピーに、ラグビーワールドカップの熱戦に沸く人々を映すCMも注目された。同社の「アサヒ生ビール」は竹内まりやの『元気を出して』をBGMに、芳根京子と松下洸平がそれぞれ居酒屋での時間を楽しみ、自宅で商品を手「おつかれ生です。」と語りかけるCMが好評だった。

花王「アタックZERO」は松坂桃李、菅田将暉、賀来賢人、間宮祥太郎、杉野遥亮が“#洗濯愛してる会”のメンバーを演じ、スティック形状の衣料用洗剤「アタックZERO パーフェクトスティック」を訴求するCMが多くの支持を得た。Uber Eats Japanは夏木マリを起用したCMシリーズがヒット。「Uber Eatsで、いーんじゃない?」のコピーとともに、サービスの利便性や先進性を表現した。

ユー・エス・ジェイ「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」、トリドールホールディングス「丸亀製麺」は自己最高のCM好感度を獲得し、初のトップ10入りを果たした。前者は塾講師役の菅田将暉が子どもたちに「おうちの人と一緒に、よ〜く、やらかすように!」と伝えるCMがヒット。後者は米米CLUBの『Shake Hip!』のリメイク楽曲が流れる中、原菜乃華ら商品を手にした人々がさまざまな場所でダンスをしてうどんを食べるCMを放送し、カップ容器入りのうどんを振って味わう『丸亀シェイクうどん』を印象づけた。

詳細は専門誌「CM INDEX」2023年12月号(12月15日発売)をご覧ください。データ使用の際は事前のご連絡をお願いいたします。
ご質問などはCM総合研究所のホームページ(www.cmdb.jp)のお問い合わせフォームよりご連絡ください。